

令和元年度 第1回宮代町食と農の研究会 会議録(要旨)

- 開催日時 令和元年5月27日(月)午後2時00分～4時00分
- 場所 新しい村 村の集会所
- 出席者 <委員> 蛭田会長、武笠副会長、島村委員、湯浅委員、須藤委員、赤井委員、
大門委員、北村委員、関永委員、殿塚委員、新井委員、長堀委員
<アドバイザー> 石井氏
<事務局> 菅原副課長、鈴木主査、小林主任、中村主任
健康介護課 健康増進室 山岸管理栄養士
- 傍聴者 0名

■次第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議内容
 - (1)宮代町の6次化について考えるワークショップ
「地場産農産物を加工した商品の商品化に向けた課題の整理」
 - (2)宮代町6次化推進事業の概要について
 - (3)その他
- 4 次回の会議日程について
- 5 閉 会

■ 会議内容

- (1) 宮代町の6次化について考えるワークショップ
「地場産農産物を加工した商品の商品化に向けた課題の整理」
委員、アドバイザー、職員が3班に分かれて、ワールドカフェ方式によるワークショップを実施。宮代産農産物を使用したお菓子3種を試食しながら、和やかな雰囲気の中で下記の2問について1ラウンド15分で、2ラウンドずつ話し合い、活発な意見交換が行われた。
問い1「宮代産農産物を使った、今後期待する商品とは？」
「お米や米粉を使った商品」「巨峰等のソフトクリーム」「巨峰等果物をたくさん使った冷たいお菓子、パフェ」「レトルト食品」「宮代の新鮮野菜を使った商品」などの意見が出された。
問い2「それを実現するために何が課題だと思いますか？」
「目的、ヴィジョン」「資金」「施設」「担い手」「リーダー」「安定供給」「販路」「宣伝力」「新しい村への動線の見直し」などの意見が出された。
- (2)宮代町6次化推進事業の概要について
事務局から配布資料3について説明
- (3)その他
健康介護課 健康増進室 山岸管理栄養士から健康づくり、食育推進について説明
- 4 次回の会議日程について
令和元年8月下旬に開催予定
副会長あいさつ
- 5 閉 会

